

# 「雄志」



民主党千葉県第10区総支部長  
元衆議院議員 谷田川はじめ

## 民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会

### 【香取事務所】

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2  
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991  
Mail:info@hajime-yatagawa.com  
HP:www.hajime-yatagawa.com

## 民主党公認が内定

早いもので、昨年12月の衆院選から半年が過ぎようとしています。この間、皆様には数々の励ましを頂戴し、大変有り難く存じます。お陰様で次期衆院選に向けて日々士気が鼓舞されています。

こうしたなか、6月1日付けで私谷

田川はじめが千葉県10区における民主党公認候補に内定致しました。当初、二度連続して落選した場合は公認候補になれないとの党の内規があるため、

皆様にはご心配をおかけしましたが、党の公認内定をもらい安堵するとともに、責任の重さを実感しています。絶対に当選するとの強い意志を持つて、懸命に努力して参る所存です。

話が前後しますが、4月の統一地方選では、実弟の谷田川みつたけをはじめ、党や後援会関係者へのご支援を賜り誠に有り難く厚く御礼申し上げます。お陰様で谷田川みつたけ県議を誕生させるとともに、多くの関係者が当選し、次期衆院選に向けて一定の基盤を構築することができました。

さて、わが国の政治状況は波乱含み

の展開になつてゐると思われます。安倍政権が強引に推進している集団的自衛権行使可能にする安全保障法制、派遣労働を増やし、残業代ゼロを目指す労働法制の改悪。さらには、地方創生と言いながら、このままでは米価が一層安くなり、耕作放棄地が増え、文字通り「地方草生」になりかねない農業問題。

こうした問題にしつかりと対案を出し、安倍政権の暴走に歯止めをかける役割が私ども民主党をはじめとする野党に求められています。昨年の今頃、まさか年末に衆院選が実施されるとは思つていませんでしたが、与野党対決が激しさを増せば、最後は国民に信を問うという選択肢もあるかもしれません。まさに、衆議院は「常在戦場」。このことを念頭に置き、精一杯活動して参ります。

皆様のご支援とご協力を切にお願い申し上げます。

平成二十七年六月

谷田川はじめ

# 統一地方選挙で一定の成果



谷田川みつたけ候補の出陣式にて(4/3)

4月に行われた統一地方選挙。前半の県議選では、香取市選挙区から無所属で立候補した谷田川はじめの実弟の谷田川みつたけ氏が無投票で初当選を果たしました。4年前の県議選で苦杯をなめただけに、喜びも一入です。

後半の市町議会議員選挙では、民主党籍のある海保しげき氏（成田市）が無所属で立候補し、17位の当選。また、

鎌倉金氏（銚子市）も民主党推薦で立

## 谷田川みつたけ県議の誕生

**海保しげき（成田市）**  
**鎌倉 金（銚子市）** 両市議も堂々の当選



当選が決まり乾杯！(4/3)



海保候補の出陣式にて(4/19)



鎌倉候補の当選が決まりバンザイ(4/26)

候補し、5位当選を果たしました。また、先の衆院選で私を支援してくれた議員が次々と当選し、次期衆院選を目指すうえで、一定の成果を得ることができました。

# 神崎町第二浄水場が 4月1日より運転開始



石橋町長を表敬訪問

神宿から古原に移転した浄水場が4月1日から運転を開始しました。谷田川はじめは5月21日に石橋町長を表敬訪問するとともに、その後完成したばかりの浄水場を視察しました。

神宿から古原に移転した場合でも9割の国庫補助が実現。これにより神崎町の負担が約10億円軽減されました。

**谷田川はじめが全国初のケースとして  
9割国庫補助を実現！**

東日本大震災による液状化で壊滅的な被害を受けた神崎町神宿浄水場。当時衆議院議員であつた谷田川はじめは、石橋町長の案内で現場を視察するとともに、厚生労働省に対し早期復旧を要請しました。震災からの復旧には9割の

国庫補助を受けられる仕組みがありました。しかしそれは現場での復旧が条件。

移転した場合には3割の国庫補助しか認められていました。しかし、谷田川はじめが厚生労働省に粘り強く働きかけた結果、全国初のケースとして移転した場合でも9割の国庫補助が実現。これにより神崎町の負担が約10億円軽減されました。



担当者から説明を受ける谷田川はじめ



完成した第二浄水場の前で

# 配布したチラシを掲載しました。

## 3月のチラシ

### 安倍内閣の大きな矛盾

#### 少子化社会対策大綱で、「非正規雇用から正規雇用への移行推進」と述べながら、再度労働者派遣法改正案を準備

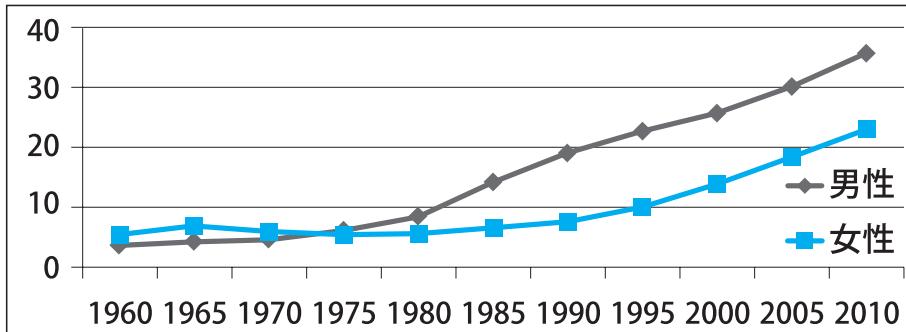
3月20日、新たな少子化社会対策大綱が閣議決定されました。少子化が「社会経済の根幹を揺るがしかねない危機的状況」とし、今後5年間を「集中取り組み期間」と位置づけ、若者の結婚支援策や妊娠・出産・教育の推進など新たな内容も盛り込まれました。

この内容については、評価したいと思いますが、果たして実行に移せるのか？絵に書いた餅で終わってしまうのではないかと危惧しています。

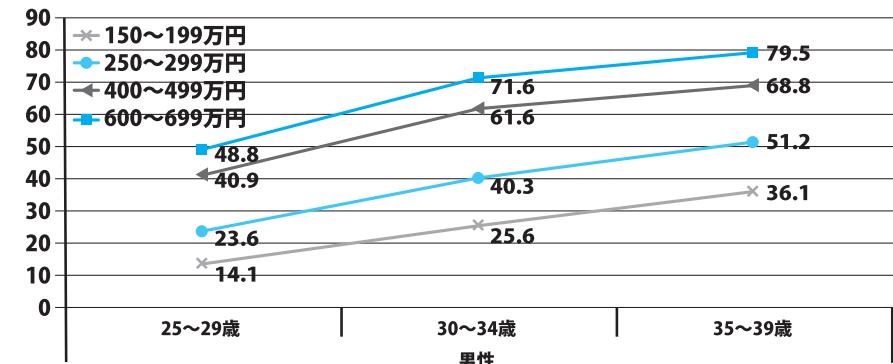
少子化の原因は様々ですが、最大の要因は、グラフ①にあるように結婚しない男女が増えたことです。1970年代では結婚したカップルは年間100万組を超えていましたが、2013年は約66万組と戦後最小になりました。そして、グラフ②にあるように年収が高い男性ほど結婚する割合が高いことが分ります。

それ故少子化社会対策大綱では、「非正規雇用から正規雇用への移行推進」を謳っています。一方、安倍内閣は、昨年末の衆議院解散により、廃案になった労働者派遣法の改正案を再度提出する準備をしています。改正案は、企業が3年ごとに派遣労働者を代えれば、どんな業務でもずっと仕事を派遣労働者に任せることができます。この改正案が派遣労働者の数を増やすことになるのは、火を見るよりも明らかです。ということは労働者派遣法改正案は、少子化を一層深刻化させる要因になります。有村少子化対策担当大臣は記者会見で、「対策をしっかりと前に進めるためには、関係省庁と連携し全力で取り組む」と述べましたが、その言葉が本当であるなら、労働者派遣法改正案は提出すべきでないと強く主張すべきです。

グラフ① 35歳～39歳における未婚率の推移



グラフ② 年収別配偶者のいる割合



# 早朝の駅頭活動で、3月と5月に

## 5月のチラシ

### 改革とは名ばかりの安倍政権の農業政策

#### 民主党は、農業者戸別所得補償法案に加え、農協法改正案を提出

政府が提出した農業協同組合法等の一部を改正する法律案についての質疑が5月14日の衆議院本会議で行われ、安倍政権の農業政策の問題点が次々と明らかになりました。

政府・与党は、平成25年12月に決定した「農林水産業・地域活力創造プラン」において「農業・農村の所得倍増を目指す」としました。これを聞き多くの農家は、自分の所得が倍になると思ったことでしょう。しかし、この数字は全くデタラメであることが明らかになりました。すなわち、根拠となるデータが公表され、農業所得は1.2倍になるものの、農村地域の関連所得が3.8倍になることで、2025年度には2013年度比で農業・農村地域が倍増というものでした。しかし、「農村地域」の定義がないことから、そもそもなぜその金額が農村へ帰属するのか、明確な答弁はありませんでした。

政府は、今回の農協改革を戦後最大の改革と声高に叫びますが、全国農業協同組合中央会の監査制度をいじることで、どうして農業所得が向上するのか？これについても明確な答弁ができませんでした。

さらに、TPP交渉において、米国産主食用米の輸入量に特別枠を設定し、その量を増やすことを日本政府が検討していることが伝えられています。国内では、将来における米の所得補償交付金を廃止、飼料用米への交付金を増やし、主食用米の生産を抑えておきながら、海外からの主食用米を増やすことになります。TPP交渉合意のためなら、日本の農家は家畜の米を作り、日本の消費者は、日本の米ではなく、アメリカの米を食べろと言うことでしょうか？そもそもこのような交渉がなされることは、米を含む重要5品目を守るとした国会決議に反します。

民主党は、農業の所得向上と営農の継続を確保するため、農業者戸別所得補償制度などの施策を実施することで、集落営農数の増加や過剰作付面積の減少など、着実な成果を挙げ、農家から高い評価を得てきました。しかし、将来の見通しもつかないなか、戸別所得補償制度の廃止を安倍政権が突然打ち出した結果、昨年米価は史上最悪の下落を記録することになりました。このような厳しい農業情勢を「農協が農業の成長を阻んでいる」と悪者のレッテルを貼り、戦後農政の失敗を農協だけに押し付けているのが、今回の農協改革の実態ではないでしょうか。

民主党は、今の農政に必要なのは、天候や経済状況などに左右される農家の所得を一定程度安定させ、農家が将来の見通しを持って安心して農業に従事できることだと考えています。それを実施するため、今国会で農業者戸別所得補償法案を提出。さらに政府法案の対案として、農協法改正案を提出し、「地域のための農協」としての位置付けを明確にする規定と農協の自主性が真に担保される規定を新たに設けました。

民主党はこれまで、都市型政党であるとのイメージを持たれていましたが、決してそうではなく、ふるさと農業を守ることをしっかりとアピールして参る所存です。



J R 佐原駅にて(5/22)



龍福寺節分会に参加し、ダルマを当てる(2/3)



千葉県ハンドボール協会長として挨拶(1/30)



連合主催 銚子地域メーテーで挨拶(5/3)



上甲塾長が主催する青年塾成田講座に前原元国交大臣とともに出席(4/25)



東元会(東庄町谷田川元後援会)総会で挨拶(5/16)



香取市復興支援将棋イベント会場で対局 谷田川はじめは将棋3段の腕前(5/4)



イルカウォッチング安全祈願式に出席(4/22)



佐原中学校PTA奉仕活動に参加(5/22)



千葉県教職員組合印旛支部合同定期大会で挨拶(5/23)

# 統一地方選 各地で選挙応援



野田前総理を招いた鎌倉市議の市政報告会で挨拶(4/18)

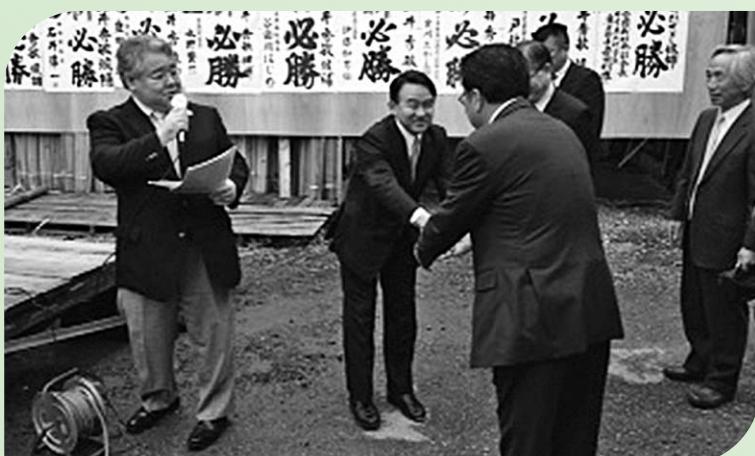
星野慎太郎候補(成田市)の出陣式にて(4/19)



福島浩一候補(成田市)の出陣式にて(4/19)



きざわ雅弘候補(成田市)の出陣式にて(4/19)



土井秀敏候補(多古町)の出陣式にて(4/21)



那須保秋候補(多古町)の当選祝賀会にて(4/26)

## 各地で早朝の駅頭活動



JR 鍋子駅(3/31)



JR 成田駅西口(5/18)



京成成田駅(5/23)



JR 八日市場駅(5/24)

# 日本、そして千葉10区をよくするために 谷田川はじめを応援する 輪を広げて下さい！



## 【谷田川はじめプロフィール】

昭和 38 年	1 月 17 日香取市に生まれる
56 年	千葉県立佐原高校卒業
60 年	早稲田大学政治経済学部卒業
同年	丸紅(株)入社
63 年	(財)松下政経塾入塾 在塾中、米国連邦下院議員政策スタッフとして活動
平成 3 年	衆議院議員山村新治郎秘書
5 年	千葉県議会議員初当選 以後 4 期連続当選
21 年	衆議院議員初当選 拉致問題特別委員会理事 国土交通委員会委員
24 年	民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
26 年	再選を目指したものの惜敗 返り咲きを目指すもわずか 10 票で比例区当選に届かず
【現在】	民主党千葉県第10区総支部長 千葉県ハンドボール協会会長

冠婚葬祭等の情報がありましたら、谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整がつけば、谷田川はじめが顔を出させて頂きます。

## ○ポスター掲示とご連絡のお願い

左記のポスターをご自宅等に貼らせて頂けませんか？また広報板が倒れています、古いポスターのままである時は、下記 TEL までご連絡頂ければ幸いです。

## ○あなたの力を貸し下さい

ポスター掲示、チラシのポスティング、駅頭行動イベント企画・準備などボランティアスタッフ募集しています。

## ○後援会ニュース「雄志」

### 定期購読会員募集

谷田川はじめと支援者を結ぶ機関紙「雄志」を年4回発行しています。あなたのご意見を反映します。

**年会費一口2,000円(何口でも可)**

#### 購読料のお振込先

郵便振替口座 00110-9-390288 「谷田川元後援会」

**次の地域のお知り合いの方を是非ご紹介下さい。**



ご連絡お待ちしています

**TEL 0478-54-5678**

**FAX 0478-52-6991**